



平成23年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年11月2日

上場会社名 ナカバヤシ株式会社
 コード番号 7987 URL <http://www.nakabayashi.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理統括本部副本部長
 四半期報告書提出予定日 平成22年11月11日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東大

(氏名) 辻村 肇
 (氏名) 作田 一成
 配当支払開始予定日 平成22年12月1日
 TEL 06-6943-5555

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第2四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|--------|------|------|-------|------|-------|--------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 23年3月期第2四半期 | 21,623 | △1.1 | △93 | — | 103 | △50.2 | △44 | — |
| 22年3月期第2四半期 | 21,863 | △5.4 | 95 | △71.8 | 207 | △53.4 | 40 | △61.7 |

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 23年3月期第2四半期 | △0.80 | — |
| 22年3月期第2四半期 | 0.73 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-------------|--------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 23年3月期第2四半期 | 43,276 | 18,322 | 40.8 | 317.18 |
| 22年3月期 | 44,480 | 18,811 | 40.8 | 325.91 |

(参考) 自己資本 23年3月期第2四半期 17,677百万円 22年3月期 18,165百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|----------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 22年3月期 | — | 3.00 | — | 3.00 | 6.00 |
| 23年3月期 | — | 3.00 | | | |
| 23年3月期 (予想) | | | — | 3.00 | 6.00 |

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|--------|-----|-------|------|-------|------|-------|-------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 50,000 | 5.9 | 1,300 | 24.3 | 1,400 | 20.0 | 600 | 142.8 | 10.77 |

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.5「その他」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 一社（社名 ）、除外 一社（社名 ）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 有

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|----------|-------------|----------|-------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 23年3月期2Q | 61,588,589株 | 22年3月期 | 61,588,589株 |
| ② 期末自己株式数 | 23年3月期2Q | 5,854,242株 | 22年3月期 | 5,850,095株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 23年3月期2Q | 55,736,982株 | 22年3月期2Q | 55,745,304株 |

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続を実施しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる仮定及び業績予想に関する注記事項等につきましては、5ページ「1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報(3) 連結業績予想等に関する定性的情報」をご参照ください。

○添付資料の目次

| | |
|---------------------------------|----|
| 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報..... | 2 |
| (1) 連結経営成績に関する定性的情報..... | 2 |
| (2) 連結財政状態に関する定性的情報..... | 3 |
| (3) 連結業績予想に関する定性的情報..... | 5 |
| 2. その他の情報..... | 5 |
| (1) 重要な子会社の異動の概要..... | 5 |
| (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要..... | 5 |
| (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要..... | 5 |
| 3. 四半期連結財務諸表..... | 7 |
| (1) 四半期連結貸借対照表..... | 7 |
| (2) 四半期連結損益計算書..... | 9 |
| 【第2四半期連結累計期間】 | |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書..... | 10 |
| (4) 継続企業の前提に関する注記..... | 12 |
| (5) セグメント情報..... | 12 |
| (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記..... | 13 |
| 4. 補足情報..... | 14 |
| (1) 生産、受注及び販売の状況..... | 14 |

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

(単位：百万円)

| | 平成22年3月期 第2四半期 | 平成23年3月期 第2四半期 | 増減額 |
|-------------------|-------------------|-------------------|------|
| 売上高 | 21,863 | 21,623 | △239 |
| 営業利益又は営業損失(△) | 95 | △93 | △189 |
| 経常利益 | 207 | 103 | △104 |
| 四半期純利益又は四半期純損失(△) | 40 | △44 | △85 |

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、海外経済の回復を背景に輸出や生産が伸長し、緩やかな回復を続けましたが、一方で円高・株安の進行、国内景気対策の一巡などから、依然不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社は7月にナカバヤシ創立60周年を記念し、グループ会社7社とともに「Next Message～感謝をこめて～」をテーマとした展示会「ナカバヤシグループ2010 Next Message」を開催いたしました。展示会では当社グループの技術力・開発力を活かした新製品、新サービスの紹介、拡販に努めました。また、当第1四半期より定谷紙業株式会社及びフランクリン・プランナー・ジャパン株式会社の2社を連結子会社とし、それぞれビジネスフォーム事業や手帳事業の拡張を図りました。さらに、「ケアリング営業部」を設置し、高齢者向け福祉用具の販売強化にも取り組んでまいりました。

しかしながら、市場環境の変化によりビジネスフォーム等の受注部門や事務機器関連事業の低迷、また連結子会社の株式会社三洋商会の清算もあり、当社グループの当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同四半期比1.1%減の216億23百万円となりました。

一方利益面では、市場競争の激化やデフレの影響による受注単価の下落や需要減に伴う操業度の低下などにより、原価率は若干上昇しました。また、人件費やのれん償却額が増加するなど販売費及び一般管理費も増加しました。この結果、営業損失は93百万円（前年同四半期は営業利益95百万円）、経常利益は1億3百万円（前年同四半期比50.2%減）と採算が悪化いたしました。

また、特別利益として固定資産売却益12百万円その他、合計で29百万円を計上し、特別損失として投資有価証券評価損63百万円、資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額56百万円その他、合計で1億23百万円を計上いたしました。この結果、法人税等税負担調整後の当四半期純損失は44百万円（前年同四半期は四半期純利益40百万円）となりました。

なお、セグメントの状況は以下のとおりです。

①印刷製本関連事業

図書製本につきましては、資料保存やデジタル化などのサービスの拡充に努めてきましたが、製本需要は縮小しており依然厳しい状況が続いております。ビジネスフォームや法人向け手帳につきましては、新規顧客の開拓、特に民間企業との取引拡大に注力するとともに各種情報処理サービスの拡充に努めておりますが、需要の落込みや競争激化による受注単価の下落により売上高は減少しました。

この結果、当事業の売上高は107億94百万円、受注高は100億85百万円、営業利益は20百万円となりました。

②ステーションナリー関連事業

専門店、GMS、雑貨・専門店、カメラチェーン店などへの販売強化を図るとともに、通販・ネット販売への掲載商品の拡大、新規顧客の開拓に注力いたしました。アルバム及び写真関連製品は堅調に推移しました。一方、ファニチャーや収納整理用品は採算性の観点から商品構成の見直しを行いました。また、フォトブックについてはブライダル、卒業、卒園向けを新たに加えた写真館関連事業の確立に取り組みました。

この結果、当事業の売上高は58億88百万円となりました。また利益面におきましては、円高や付加価値の高い製品の販売による原価率の改善、経費削減に努めました結果、営業利益は93百万円となりました。

③環境事務機器関連事業

循環型リサイクルシステムの提案等、新規顧客の開拓に注力するとともに、中・小型シュレツダについては随時、拡販キャンペーンを実施するなど販売強化に取り組みました。しかし、依然企業の経費削減志向も強く、シュレツダ等は低調に推移いたしました。

この結果、当事業の売上高は10億52百万円となりました。また利益面におきましては、売上高の低迷により営業損失は79百万円となりました。

④PC周辺機器関連事業

家電量販店向けのLANケーブルは順調に推移いたしました。HDMIケーブルのフラットタイプやスリムタイプなどの特徴のある新製品は好調に推移している一方で、他社と差別化できない従来型の製品は低迷いたしました。

この結果、当事業の売上高は17億64百万円となりました。また利益面におきましては、不採算の子会社もあることから営業損失は13百万円となりました。

⑤ベビー&シルバー関連事業

チャイルドシートは、政府のエコカー減税により自動車の販売台数が好調に推移したことに伴い売上高は増加しました。シルバーカーなど高齢者向け福祉用具につきましては、「ケアリング営業部」を新設し、販売強化に取り組みました。

この結果、当事業の売上高は9億94百万円となりました。また利益面におきましては、チャイルドシートの売上高増加により営業利益は78百万円となりました。

⑥その他事業

連結子会社の日達物流株式会社が営む貨物運送事業やウーマンスタッフ株式会社が営む人材派遣業などであり、売上高は11億28百万円、営業利益は30百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて7億97百万円減少し、202億34百万円となりました。これは仕掛品が4億69百万円、商品及び製品が4億40百万円それぞれ増加しましたが、受取手形及び売掛金が15億43百万円、現金及び預金が5億4百万円それぞれ減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて4億6百万円減少し、230億42百万円となりました。これは繰延税金資産（投資その他の資産の「その他」）が1億59百万円、のれんが1億41百万円それぞれ増加しましたが、投資有価証券（投資その他の資産の「その他」）が3億61百万円、機械装置及び運搬具（有

形固定資産の「その他」)が2億29百万円それぞれ減少したことなどによります。

この結果、当第2四半期連結累計期間末の総資産は前連結会計年度末に比べて12億3百万円減少し、432億76百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて13億97百万円増加し、164億77百万円となりました。これは未払法人税等が2億54百万円、未払金(流動負債の「その他」)が1億14百万円それぞれ減少しましたが、短期借入金が15億91百万円増加したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて21億11百万円減少し、84億77百万円となりました。これは、長期借入金が21億24百万円減少したことなどによります。

この結果、当第2四半期連結累計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べて7億14百万円減少し、249億54百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて4億88百万円減少し、183億22百万円となりました。これはその他有価証券評価差額金が2億45百万円、利益剰余金が2億11百万円それぞれ減少したことなどによります。

(自己資本比率)

当第2四半期連結累計期間末の自己資本比率は前連結会計年度末とほぼ同水準の40.8%となりました。

(1株当たり純資産額)

当第2四半期連結累計期間末における1株当たり純資産額は317円18銭(前連結会計年度比8円73銭の減少)となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間末の現金及び現金同等物は前連結会計年度末に比べて4億81百万円の減少となり、42億46百万円となりました。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、9億3百万円の収入(前年同四半期比5億14百万円収入減)となりました。主な内訳は、減価償却費6億77百万円、売上債権の減少額16億61百万円、たな卸資産の増加額8億96百万円、法人税等の支払額3億58百万円等であります。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、5億77百万円の支出(前年同四半期比82百万円支出減)となりました。主な内訳は、営業譲受による支出3億20百万円、有形固定資産の取得による支出2億28百万円等であります。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、8億1百万円の支出(前年同四半期比1億4百万円支出増)となりました。主な内訳は、長期借入れによる収入14億円、長期借入金の返済による支出17億87百万円、短期借入金の純減少額2億36百万円、配当金の支払額1億67百万円等であります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年5月9日発表時の通期業績予想の修正は行っておりません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

①連結の範囲の変更

連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動はありません。

なお、平成22年4月に定谷紙業株式会社の増資を引き受けたこと、及びフランクリン・プランナー・ジャパン株式会社を新規設立したことにより、両社を連結の範囲に含めております。

また、平成22年5月に株式会社三洋商會を清算終了したことにより、連結の範囲から除外しております。

②変更後の連結子会社の数

13社

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算出する方法によっております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

①「資産除去債務に関する会計基準」の適用

当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これにより、営業利益及び経常利益はそれぞれ7百万円、税金等調整前四半期純利益は63百万円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は56百万円であります。

②「企業結合に関する会計基準」等の適用

当第1四半期連結会計期間より、「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成20年12月26日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成20年12月26日）、「研究開発費等に係る会計基準」の一部改正」（企業会計基準第23号 平成20年12月26日）、「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成20年12月26日）、「持分法に関する会計基準」（企業会計基準第16号 平成20年12月26日公表分）及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第10号 平成20年12月26日）を適用しております。

③表示方法の変更

(四半期連結損益計算書関係)

前第2四半期連結累計期間において営業外収益の「その他」に含めて表示しておりました「雑収入」については、重要性が増加したことにより、当第2四半期連結累計期間においては区分掲記しております。なお、前第2四半期連結累計期間の「その他」に含めて表示しておりました「雑収入」は53百万円であります。

前第2四半期連結累計期間において営業外費用の「その他」に含めて表示しておりました「貸与資産諸費用」については、重要性が増加したことにより、当第2四半期連結累計期間においては区分掲記しております。なお、前第2四半期連結累計期間の「その他」に含めて表示しておりました「貸与資産諸費用」は25百万円であります。

前第2四半期連結累計期間において特別利益の「その他」に含めて表示しておりました「固定資産売却益」については、重要性が増加したことにより、当第2四半期連結累計期間においては区分掲記しております。なお、前第2四半期連結累計期間の「その他」に含めて表示しておりました「固定資産売却益」は5百万円であります。

「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成20年12月26日)に基づく財務諸表等規則等の一部を改正する内閣府令(平成21年3月24日 内閣府令第5号)の適用により、当第2四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純損失」の科目を表示していません。

3. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日) | 前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日) |
|-------------|-------------------------------|------------------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 4,297 | 4,801 |
| 受取手形及び売掛金 | 8,171 | 9,714 |
| 商品及び製品 | 4,386 | 3,945 |
| 仕掛品 | 1,178 | 709 |
| 原材料及び貯蔵品 | 1,260 | 1,119 |
| その他 | 979 | 755 |
| 貸倒引当金 | △39 | △14 |
| 流動資産合計 | 20,234 | 21,031 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 5,608 | 5,729 |
| 土地 | 10,782 | 10,747 |
| その他(純額) | 3,209 | 3,440 |
| 有形固定資産合計 | 19,600 | 19,917 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 278 | 136 |
| その他 | 231 | 259 |
| 無形固定資産合計 | 509 | 396 |
| 投資その他の資産 | | |
| その他 | 2,999 | 3,204 |
| 貸倒引当金 | △67 | △69 |
| 投資その他の資産合計 | 2,932 | 3,134 |
| 固定資産合計 | 23,042 | 23,448 |
| 資産合計 | 43,276 | 44,480 |

ナカバヤシ(株) (7987) 平成23年3月期 第2四半期決算短信

(単位：百万円)

| | 当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日) | 前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日) |
|--------------|-------------------------------|------------------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 6,417 | 6,478 |
| 短期借入金 | 6,541 | 4,949 |
| 未払法人税等 | 165 | 419 |
| 賞与引当金 | 651 | 554 |
| その他 | 2,701 | 2,677 |
| 流動負債合計 | 16,477 | 15,080 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 4,705 | 6,830 |
| 退職給付引当金 | 3,341 | 3,220 |
| 役員退職慰労引当金 | 27 | 36 |
| その他 | 402 | 502 |
| 固定負債合計 | 8,477 | 10,588 |
| 負債合計 | 24,954 | 25,669 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 6,666 | 6,666 |
| 資本剰余金 | 8,740 | 8,740 |
| 利益剰余金 | 3,416 | 3,627 |
| 自己株式 | △1,332 | △1,331 |
| 株主資本合計 | 17,490 | 17,702 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 163 | 408 |
| 繰延ヘッジ損益 | △19 | 3 |
| 為替換算調整勘定 | 43 | 51 |
| 評価・換算差額等合計 | 187 | 463 |
| 少数株主持分 | 644 | 645 |
| 純資産合計 | 18,322 | 18,811 |
| 負債純資産合計 | 43,276 | 44,480 |

(2) 四半期連結損益計算書
【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日) |
|---------------------|---------------------------------------------|---------------------------------------------|
| 売上高 | 21,863 | 21,623 |
| 売上原価 | 16,034 | 15,880 |
| 売上総利益 | 5,829 | 5,743 |
| 販売費及び一般管理費 | 5,733 | 5,837 |
| 営業利益又は営業損失(△) | 95 | △93 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 0 | 0 |
| 受取配当金 | 26 | 26 |
| 有価証券売却益 | 6 | 1 |
| 受取保険金 | 80 | 92 |
| 受取賃貸料 | 70 | 75 |
| 雑収入 | — | 123 |
| その他 | 60 | 5 |
| 営業外収益合計 | 245 | 325 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 96 | 82 |
| 有価証券売却損 | 0 | — |
| 貸与資産諸費用 | — | 26 |
| その他 | 37 | 20 |
| 営業外費用合計 | 134 | 129 |
| 経常利益 | 207 | 103 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | — | 12 |
| 貸倒引当金戻入額 | 63 | 6 |
| その他 | 6 | 11 |
| 特別利益合計 | 69 | 29 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産処分損 | 6 | 2 |
| 投資有価証券評価損 | — | 63 |
| 役員退職慰労金 | 2 | — |
| 資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額 | — | 56 |
| その他 | 0 | 0 |
| 特別損失合計 | 9 | 123 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 267 | 9 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 173 | 152 |
| 法人税等調整額 | 10 | △76 |
| 法人税等合計 | 183 | 76 |
| 少数株主損益調整前四半期純損失(△) | — | △66 |
| 少数株主利益又は少数株主損失(△) | 42 | △21 |
| 四半期純利益又は四半期純損失(△) | 40 | △44 |

ナカバヤシ(株) (7987) 平成23年3月期 第2四半期決算短信

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日) |
|--------------------------|---------------------------------------------|---------------------------------------------|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 267 | 9 |
| 減価償却費 | 742 | 677 |
| のれん償却額 | 19 | 41 |
| 貸倒引当金の増減額(△は減少) | △62 | 22 |
| 受取利息及び受取配当金 | △27 | △27 |
| 支払利息 | 96 | 82 |
| 売上債権の増減額(△は増加) | 1,583 | 1,661 |
| たな卸資産の増減額(△は増加) | △621 | △896 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | △616 | △66 |
| 投資有価証券売却損益(△は益) | △0 | △4 |
| 負ののれん発生益 | — | △5 |
| 賞与引当金の増減額(△は減少) | 150 | 87 |
| 退職給付引当金の増減額(△は減少) | 87 | 105 |
| 役員退職慰労引当金の増減額(△は減少) | △1 | △9 |
| 有価証券売却損益(△は益) | △6 | △1 |
| 投資有価証券評価損益(△は益) | — | 63 |
| 有形固定資産処分損益(△は益) | 1 | △9 |
| 未払消費税等の増減額(△は減少) | △54 | △164 |
| その他 | 84 | △251 |
| 小計 | 1,642 | 1,316 |
| 利息及び配当金の受取額 | 27 | 27 |
| 利息の支払額 | △97 | △82 |
| 法人税等の支払額 | △152 | △358 |
| その他の支出 | △2 | — |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 1,417 | 903 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有価証券の売買による収支(純額) | 6 | 1 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △685 | △228 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 73 | 18 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △11 | △78 |
| 投資有価証券の売却による収入 | 4 | 14 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △21 | △10 |
| 定期預金の預入による支出 | △0 | — |
| 子会社株式の取得による支出 | △10 | △8 |
| 営業譲受による支出 | △14 | △320 |
| 短期貸付金の増減額(△は増加) | 0 | △0 |
| 連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入 | — | 32 |
| その他 | △1 | 3 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △660 | △577 |

ナカバヤシ(株) (7987) 平成23年3月期 第2四半期決算短信

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日) |
|----------------------|---------------------------------------------|---------------------------------------------|
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 長期借入れによる収入 | 1,000 | 1,400 |
| 長期借入金の返済による支出 | △1,262 | △1,787 |
| 自己株式の取得による支出 | △1 | △0 |
| 配当金の支払額 | △167 | △167 |
| 短期借入金の純増減額 (△は減少) | △257 | △236 |
| その他 | △8 | △9 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △696 | △801 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 5 | △6 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | 65 | △481 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 3,459 | 4,728 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 3,525 | 4,246 |

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

| | 紙製品 関連事業 (百万円) | 事務機器 関連事業 (百万円) | その他事業 (百万円) | 計 (百万円) | 消去又は 全社 (百万円) | 連結 (百万円) |
|--------------------------|----------------------|-----------------------|----------------|------------|---------------------|-------------|
| 売上高 | | | | | | |
| (1)外部顧客に 対する売上高 | 16,145 | 5,686 | 30 | 21,863 | — | 21,863 |
| (2)セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 1 | 64 | 651 | 717 | (717) | — |
| 計 | 16,147 | 5,751 | 682 | 22,581 | (717) | 21,863 |
| 営業利益 | 706 | 65 | 10 | 783 | (687) | 95 |

(注) 1 事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2 各事業の主な製品

- (1) 紙製品関連事業………図書製本・手帳・アルバム等日用紙製品の製造販売
- (2) 事務機器関連事業………OAデスク・レターケース等鋼製事務機・コンピュータ用品・オフィス家具・チャイルドシート等の製造販売
- (3) その他事業………貨物自動車運送事業・同取扱事業

【所在地別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

全セグメントの売上高の合計に占める「日本」の割合が90%を超えているため、記載を省略しております。

【海外売上高】

前第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

海外売上高は、連結売上高の10%未満のため、記載を省略しております。

【セグメント情報】

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、製品・サービス別のカンパニー及び連結子会社を設置し、各カンパニー及び連結子会社は、取り扱う製品・サービスについて国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

従って、当社は、カンパニー及び連結子会社を基礎とした製品・サービス別のセグメントから構成されており、「印刷製本関連事業」、「ステーションナリー関連事業」、「環境事務機器関連事業」、「PC周辺機器関連事業」及び「ベビー&シルバー関連事業」の5つを報告セグメントとしております。

「印刷製本関連事業」は、図書館製本、法人向け手帳及びデジタルフォーム事業等の製造、販売を行っております。「ステーションナリー関連事業」は、アルバム、ファイル、ノート等日用紙製品、ファニチャー及び収納整理用品の製造、販売を行っております。「環境事務機器関連事業」は、シュレッダ等事務機器の製造、販売を行っております。「PC周辺機器関連事業」は、コンピュータ用品等の製造、販売を行っております。「ベビー&シルバー関連事業」はチャイルドシート及び高齢者向け福祉用具等の製造、販売を行っております。

2 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | | | その他 (注)1 | 合計 | 調整額 (注)2 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3 |
|-----------------------|--------------|---------------------------|--------------------|--------------------|----------------------|--------|-------------|--------|-------------|-------------------------------|
| | 印刷製本 関連事業 | ステー ション ナリー 関連事業 | 環境事務 機器関連 事業 | PC周辺 機器関連 事業 | ベビー& シルバ ー関連事業 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 10,794 | 5,888 | 1,052 | 1,764 | 994 | 20,495 | 1,128 | 21,623 | — | 21,623 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 479 | 728 | 194 | 46 | 42 | 1,491 | 828 | 2,320 | △2,320 | — |
| 計 | 11,273 | 6,616 | 1,247 | 1,811 | 1,037 | 21,986 | 1,957 | 23,944 | △2,320 | 21,623 |
| セグメント利益 又は損失(△) | 20 | 93 | △79 | △13 | 78 | 99 | 30 | 130 | △224 | △93 |

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、貨物自動車運送事業・同取扱事業、人材派遣業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△224百万円には、セグメント間取引消去111百万円、棚卸資産の調整額△5百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△330百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

①生産実績

当第2四半期連結累計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

| セグメントの名称 | 生産高(百万円) | 前年同四半期比(%) |
|---------------|----------|------------|
| 印刷製本関連事業 | 7,678 | — |
| ステーションナリー関連事業 | 3,307 | — |
| 環境事務機器関連事業 | 542 | — |
| PC周辺機器関連事業 | 31 | — |
| ベビー&シルバー関連事業 | 791 | — |
| その他事業 | 467 | — |
| 合計 | 12,817 | — |

(注) 1 金額は、販売価格によっております。
2 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

②受注実績

当第2四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

なお、受注生産は印刷製本関連事業のうち主なものは図書製本、手帳及びビジネスフォーム等の紙製品で、ステーションナリー関連事業、環境事務機器関連事業、PC周辺機器関連事業、ベビー&シルバー関連事業及びその他事業は、見込み生産で、受注生産が僅少である事業、または、提供するサービスの性格上、受注実績の記載に馴染まない事業のため、記載は省略しております。

| セグメントの名称 | 受注高(百万円) | 前年同四半期比(%) | 受注残高(百万円) | 前年同四半期比(%) |
|----------|----------|------------|-----------|------------|
| 印刷製本関連事業 | 10,085 | — | 3,230 | — |

(注) 1 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

③販売実績

当第2四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

| セグメントの名称 | 販売高(百万円) | 前年同四半期比(%) |
|---------------|----------|------------|
| 印刷製本関連事業 | 10,794 | — |
| ステーションナリー関連事業 | 5,888 | — |
| 環境事務機器関連事業 | 1,052 | — |
| PC周辺機器関連事業 | 1,764 | — |
| ベビー&シルバー関連事業 | 994 | — |
| その他事業 | 1,128 | — |
| 合計 | 21,623 | — |

(注) 1 当第2四半期連結累計期間における相手先別の販売実績は、総販売実績に対する割合が100分の10未満の相手先のみで、記載を省略しております。
2 上記金額には、消費税等は含まれておりません。